

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	術後腸管再建症例に対する内視鏡的逆行性胆道膵管造影及び関連手技・治療における、ショートタイプ及びロングタイプバルーン内視鏡の2群間比較試験-後ろ向き前向き研究-		
1.研究の目的と方法	消化管術後の方は通常と解剖が異なるため、胆道膵臓疾患の検査や治療の際に、従来の十二指腸鏡を用いた内視鏡的逆行性胆道膵管造影(ERCP)及び関連手技・治療が困難です。そこで特殊なバルーン内視鏡を用いた検査・治療が必要になる事が数多くあります。当院では「術後腸管再建症例に対する内視鏡的逆行性胆道膵管造影及び関連手技・治療における、ショートタイプ及びロングタイプバルーン内視鏡の2群間比較試験」を開始しました。これまで国内外では、ロングタイプバルーン内視鏡を用いたERCP及び関連手技・治療が行われてきましたが、近年ショートタイプバルーン内視鏡の有用性が報告されてきております。そこで、過去に行われたロングタイプバルーン内視鏡と、当院でも使用が開始されたショートタイプバルーン内視鏡の、どちらが有用であるかを明らかにし、本検査及び治療における今後の普及と技術向上に貢献したいと考えております。		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2025年1月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	研究機関：附属病院・葛飾医療センター・第三病院・柏病院 対象となる方：消化管術後の患者さんで、2012年1月1日～2025年1月31日の間に内視鏡的逆行性胆管膵管造影法(ERCP)及び関連手技・治療を受けた方。また、消化管術後の患者さんで、倫理委員会承認日より2025年1月31日までの間に、ショートタイプバルーン内視鏡を用いたERCP及び関連手技・治療を受けた方。		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	診断名、年齢、性別、身体所見、消化管術後の再建方法、検査結果(血液検査、画像検査)、内視鏡的逆行性胆管膵管造影法(ERCP)およびERCP関連手技・治療における各種検査内容	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5.研究の実施体制	あなたの情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内視鏡医学講座
		氏名	千葉允文
(2)試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ		

	(3)共同で研究を実施する機関とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。	
<b>【問い合わせ先】</b>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 内視鏡医学講座  研究責任者：助教 千葉 允文（ちば まさふみ）  電話番号：03-3433-1111（内線 3181）  対応時間：平日 10：00 ～ 16：00</p> <p>東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 内視鏡部  研究代表者：豊泉 博史（とよいずみ ひろぶみ）  電話番号：03 3603 2111 内線：5910  対応時間：平日 10：00 ～ 16：00</p> <p>東京慈恵会医科大学附属柏病院 内視鏡部  研究代表者：炭山 和毅（すみやま かずき）  電話番号：04 7164 1111 内線：2183  対応時間：平日 10：00 ～ 16：00</p> <p>東京慈恵会医科大学附属第三病院 内視鏡部  研究担当者：池田 圭一（いけだ けいいち）  電話番号：03-3480-1151 内線：3710  対応時間：平日 10：00 ～ 16：00</p>	

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。